

手術部位感染(SSI :Surgical Site Infection)が与える在院日数と直接医療費への影響の 調査研究の情報公開

ご協力をお願い

「疫学研究に関する倫理指針」第 3.1(2) <インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究の実施について公開すべき事項に関する細則>に基づいて、下記のとおり情報を公開します。

日本外科感染症学会では、臨床治験委員会内に「SSI と医療費の研究会」を設け、「手術部位感染(SSI :Surgical Site Infection)が与える在院日数と直接医療費への影響の調査研究」を実施いたします。

手術部位感染とは、手術に関連して実際に切開され操作される部位の感染のことを指し、SURGICAL SITE INFECTION 略して SSI と呼ばれています。この SSI の頻度は院内感染の 14～16%を占め、尿路感染、肺炎に次いで重要なもので、医療機関では SSI の発症を防ぐために様々な対策が行われています。

この疫学研究では 2006 年 4 月 1 日から 2008 年 3 月 31 日までに行われた調査対象となる手術症例のうち、SSI を発症した症例と SSI を発症しなかった症例の手術後の在院日数や医療費を調査し、経済的な観点から SSI の予防対策の重要性を明らかにしようとするものです。

なお、調査には過去の診療録や医療費情報など医療機関に保存されている資料のみを用いるため、この調査研究の目的で患者様に新たな情報提供をお願いしたり医療行為をお願いしたりすることはありません。

以下に研究の概要を掲載いたします。

意義

日本国内では SSI の予防方法や手術毎の発生率に関しては多数の報告があり、医療経済に関しても複数の報告がなされてきました。これらは SSI 対策の医療経済効果を検討するための先駆けの研究であり、意義の高い研究です。しかし、特定の医療機関で実施され、また対象疾患が限られており、複数の医療機関による同一の調査による報告は少ないのが現状です。したがって、多施設共同調査による、代表性のあるエビデンスが求められるところです。

目的

医療経済の観点から、複数種類の手術における SSI に関連した延長在院日数、増加

医療費の多施設調査を行い、SSI がもたらす医療費への負担の実態を明らかにします。

方法

この調査研究は、日本の医療制度下において手術部位感染（SSI：Surgical Site Infection）がもたらす医療費への負担の実態を明らかにするために、多施設において代表的な複数の手術別に SSI による延長在院日数、増加医療費について既存のデータを利用して調査を行うものです。

調査対象となる患者様は 2006 年 4 月 1 日から 2008 年 3 月 31 日の間に情報提供元医療機関で調査対象手術を受けた患者様です。

調査対象手術

調査対象手術	
Kコード	省略漢字名称
K5521	冠動脈、大動脈バイパス移植術(1 吻合)
K5522	冠動脈、大動脈バイパス移植術(2 吻合以上)
K552-21	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺不使用)(1 吻合)
K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺不使用)(2 吻合以上)
K5541	弁形成術 1 弁のもの
K5542	弁形成術 2 弁のもの
K5543	弁形成術 3 弁のもの
K5551	弁置換術 1 弁のもの
K5552	弁置換術 2 弁のもの
K5553	弁置換術 3 弁のもの
K6572	胃全摘術(悪性腫瘍手術)
K657-22	腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術)
K6951	肝切除術(部分切除)
K6952	肝切除術(区域切除)
K6953	肝切除術(葉切除)
K7031	膵頭部腫瘍切除術(膵頭十二指腸切除術)
K718	虫垂切除術
K718-2	腹腔鏡下虫垂切除術
K7193	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
K7402	直腸切除・切断術(低位前方切除術)
K7403	直腸切除・切断術(超低位前方切除術)(経肛門的結腸囊肛門吻合)
K7404	直腸切除・切断術(切断術)
K740-2	腹腔鏡下直腸切除術
K740-3	腹腔鏡下直腸低位前方切除術
K877	子宮全摘術
K8981	帝王切開術(緊急帝王切開)
K8982	帝王切開術(選択帝王切開)

予定している情報提供元医療機関

	氏名	所属機関
1.	井畔 能文	鹿児島大学 心臓血管外科学
2.	大毛 宏喜	広島大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御医科学
3.	岡 正朗	山口大学大学院医学研究科 消化器腫瘍外科学

4 .	櫻村 暢一	手稻溪仁会病院 外科
5 .	草地 信也	東邦大学医療センター大橋病院 外科学
6 .	楠 正人	三重大学大学院医学研究科 病態修復医学
7 .	小西 敏郎	NTT 東日本関東病院 外科
8 .	小林順二郎	国立循環器病センター 心臓血管外科
9 .	澤 芳樹	大阪大学 外科学講座
10 .	清水 潤三	市立豊中病院 外科
11 .	竹末 芳生	兵庫医科大学 感染制御学
12 .	種本 和雄	川崎医科大学 胸部心臓血管外科学
13 .	福島 亮治	帝京大学 外科
14 .	本村 昇	東京大学 心臓外科学
15 .	若月 俊郎	山陰労災病院 第2 消化器外科
16 .	渡辺 昌則	日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター

個人情報保護の方法

1. 対象の患者様の診療録等に記載された個人情報は、個人が特定できないように匿名化した上で研究に使用します。
2. 学会誌や学会での発表等、調査結果を公表する際、個人情報は一切公表しません。
3. この研究で収集したすべての情報は、この研究の目的以外では使用しません。
4. 収集したデータは、研究責任者がカギのかかる保管庫に管理し、バックアップデータも同様とします。このデータは5年間保存後、適切に廃棄します。

問合せ先

この研究に関するお問い合わせは、下記の研究責任者までお願いします。

研究責任者

東邦大学医療センター大橋病院 外科

教授 草地信也

〒153-8515

東京都目黒区大橋 2-17-6

東邦大学医療センター大橋病院

電話：03-3468-1251(代表)